



ロータリー：
変化をもたらす

宇都宮ロータリークラブ会報

R1テーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会員イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 樹木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2017)平成29年9月19日 No. 3214回 2017～2018年度(第10回会報)

会員数104名 出席会員数63名 出席率66.3%

ビジター紹介（親睦活動委員会 金子副委員長）

親睦活動委員会金子副委員長より

国際ロータリー第2550地区第3グループAガバナー補佐 佐伯秀利様

国際ロータリー第2550地区会員組織委員会 徳原龍樹様

宇都宮女子高白百合インターアクトクラブ 東海林佳子先生 部長 野澤裕里奈様

柳原明日香様

会長挨拶（印出井敏英会長）



皆様、こんにちは。本日はガバナー補佐の訪問ということでお招きしております。本日は色々なことがございますので私の会長挨拶は短くしたいと思うのですが、宇都宮も少し硬直をしていることもあると思います。他のクラブをガバナー補佐の佐伯様は見ているしやると思いますので、どうぞ、こういう風にした方がよいということがございましたら是非一言良いアドバイスをいただければと思っています。以上、私からの挨拶に代えさせていただきます。

細則審議に関して

印出井会長

本来ならばだいぶ前に解決していなくてはならないことでしたが、ようやく理事会を通過して参りましたので、皆様に、配布した通り、詳しいご審議をこれからしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

飯村幹事

本来ならば木村委員長が中心になって細則をまとめていただきましたので、委員会からの上程がスムーズなのかもしれませんが、この細則を作ったのが私なので私から上程をさせていただきます。

端的に説明させていただきます。変更点のみ申し上げます。第4条第10節を付け加えます。現況報告書は古いものが載っていますので、本日受付でお配りしました宇都宮ロータリークラブ細則（案）に乗っ取って第5条第10節理事会の会報。理事会の全ての会報において書面による議事録を提出する。この議事録は当該会合後60日以

内に全会員が入手できるようにする。皆様に提示する方法は追って理事会にて検討したいと思います。

続きまして、第6条入会金と会費のところ、第2節、最後の方に会費は毎年二回7月1日及び1月1日付けにて半額ずつ会員又は所属法人に請求するものとする。とありますが、これは会費は毎年二回7月1日及び1月1日付けにて半額ずつ会員に請求するものとする、となります。会員様から各法人様に請求することは各会員様の内情によってだと思いましたが、クラブは各個人の会合で成り立っていますので、会員に対しての請求と限定をして変更したいと思います。続きまして第6条は第3節で終わっておりますが第4節、再入会のときは入会金は免除するが、登録手数料を別途5万円支払う。よく支店長の皆様お変わりになられた時には10万円ではなくて5万円請求させていただいておりますので、これを細則の中に明文化しました。

続いて第10条、会員選挙の方法。第1節はそのまま最後まで、理事会で承認する場合は本人の承諾及び移籍元クラブの推薦状が必要。第2節が第3節、第3節が第4節、第4節が第5節、第5節が第6節、第6節が第7節となりまして、第2節に移籍ロータリアン又は元ロータリアンへ。会員候補者、元クラブ会員は正会員に・・・とあります。現況のロータリークラブに則したものをここに付け加えさせていただきました。Bで現会員、又は元会員ということで他のクラブからの要請があった場合は他のクラブに対して私どものクラブの会員がこういう人ですという書面を出さなければならない、Aでは、他のクラブの会員だった方にはこういう書面が必要だと書かれています。最後に付則のところ、今日ご審議いただきました暁には、本クラブ細則は2017年9月19日、本日より変更施行するという風にしたいと思っております。以上審議上程致します。会長お願い致します。

印出井会長

どうもありがとうございました。これは前回の方に配布をしておりました資料と一部先ほど第6条の第2節、または所属法人というところを削除するということの違いですが、皆様、これから決議を取りたいと思うのですが、定数は満たされているのでしょうか。

旭野副幹事

会員数105名、本日の出席者51名ですので成立いたします。

印出井会長

ありがとうございます。それではどなたかご意見のある方いらっしゃれば挙手をお願いしたいと思います。改正には投票の定員の会員数が出席していること、これは3分の1以上ですね。その出席者の3分の2以上が賛成ということが義務づけられておりますので挙手をお願い致します。何かご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

それでは、賛成の方、挙手をお願いいたします。

はい、ありがとうございます。賛成多数ということでこれは決定となりました。

大変遅くなりましたがありがとうございます。急いで宮本さんをお願いいたしまして印刷をしたいと思います。そしてガバナー公式訪問のときは別冊が出ますので皆様に

はお配りしますので、差し替えていただきたいと思います。以上でございます。ありがとうございました。

報告事項

入会者紹介

篠崎会員

本日入会の増田仲夫さんを紹介いたします。推薦者は前田会員と私、篠崎です。増田さんは福田屋百貨店の役員さんでございまして、現在当クラブの会員であります。福田屋百貨店の社長の福田宏一さんと交代ということで今回ご入会されました。最終学歴は慶応大学の卒業で、現在三田会の会長は関口さんがやられておりますが、その前に三田会の会長をやられておりました。増田さんにつきましては、商工会議所や以前に二クラブにも在籍をしておりましたので、多くの方が既にご周知かと思いますが、よろしくお願い致します。

増田さんは昭和18年2月のお生まれでございます。奥様と長女の3人住まいで、お住まいはこの近くの昭和一丁目ということでございます。趣味は、読書とゴルフということで顔に似合わず真面目な趣味ですね。読書は傾向としましては歴史書が大好きということです。ゴルフはずっとやられていますがハングレはわかりませんので、皆様のご協力をお願いいたします。以上でございます。

増田新入会員



只今ご紹介いただきました、増田仲夫でございます。ふつつか者ではございますが、是非皆様よろしくおねがいたします。

委員会報告

青少年奉仕委員会熊本委員長

皆さん、こんにちは。

青少年奉仕委員会です。本日は宇都宮女子高校白百合インターアクトクラブの部長、副部長がいらしてまして、文化祭の募金のご報告と贈呈をしたいということで、お二人からお言葉をいただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

白百合インターアクトクラブ



みなさん、こんにちは。

宇都宮女子高等学校白百合インターアクトクラブから参りました、野澤と柳原です。本日は募金のご報告と贈呈に参りました。先日、9月5日に行われた文化祭で輸入菓子の販売、ポスターの掲示、募金活動を行いました。輸入菓子は完売し、ポスターも沢山の人々に見ていただきました。募金活動は校舎の中だけではなく、外にも出て、積極的に行いました。小さいお子さんからご高齢の方まで沢山の皆様にご協力いただきました。その結果輸入菓子の売上額が8,400円、募金46,116円合計54,566円集まりましたので、募金として贈呈いたしま

す。またこの結果を経て、校外での募金活動を本格的に考えて行きたいと思います。具体的には、本年度は10万円を目標に活動していきたいと思っており、冬休み前に1回、冬休み明けにもう1回校外で行いたいです。熊本さんをはじめとするロータリーの方々には沢山のご支援、ご協力をいただきたいと思います。何卒よろしくお願い致します。日頃より私達の活動の応援をしてくださったり、活動のアドバイスをくださったりしてありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコボックス委員会小宮委員長
本日のご奉仕の報告。

例会プログラム紹介 飯村幹事

今日は再来週に控えました、ガバナー公式訪問に先立ちまして、我々のクラブの担当をしていただいております、佐伯ガバナー補佐にお越しいただきました。例年の、ガバナー補佐訪問とは少し形を異味しております、前段で懇談会を理事会構成メンバーとガバナー補佐との懇談会を開かせていただきました。色々な意味で、我々のクラブへのご意見等をいただきまして今後の活動の指針にして行きたいと思っております。それでは佐伯ガバナー補佐、よろしくお願い致します。

佐伯ガバナー補佐



皆様、こんにちは。前回ガバナー補佐の挨拶ということでさせていただきましたけれども、本当に私もここにたっているということが夢のように感じますけれども、前は特別代表を務めました久保井さんはじめ5名の方にお世話になりまして、今ロータリーのスタートを切ってから31年経つのですが、やっと私自身ロータリーって何かなという感覚になってまいりました。増田さんも今領いておりますけれども、増田さんともチャーターメンバーで北ロータリークラブだったものですから毎週のように特別代表の講話などの賜物と思っております。そんな中で私自身先ほども申し上げましたように未熟者ですので、今壇上のテレビ番組で言うとしくじり先生の開幕かなと思っております。そんな中で2020年には私達日本のロータリーは100年を迎えるわけですが、現在はインターネットの発展によりメディア上最大級の社会的影響があるものか、また、人工知能の発達により我々の職業というものもどのようなものになっていくのか分かりません。そのような状況の中で、今月号に載っておりますけれども、RIは時のなれの早い社会で、ロータリーの競合団体が多くなり、ロータリーの特色が薄れ、会員のメリット・価値が薄れてきているため、高いビジョンを持ち続けることが肝要。と、述べております。そんな中、親睦という第一テーマでありますクラブ例会において正直に語り合える楽しい時間を作り目標に向かって仲間を応援し、相手に対する思いやりで奉仕の方針を常に持つことが大切だとロータリーコーディネーター田中さんは申しております。そのような状況の中で、私もロータリー100年のときに宇都宮城址公園に宇都宮ロータリー

クラブが席表を作っていますけれども、その中にロータリーは人を作り友情を育てると記してありますけれども、やはり、私自身もやっとそれがわかってきたような気がします。しかし、ロータリーの最終目標であるような、高潔性に関しては一生自分として人前で高潔性のある人間と言えるとは未だに思いません。その中で、先ほど卓話ということですが、実際ロータリー云々ということをお話してもだれも聞いていないよと言われておりますので、皆さんに意識啓発のために、障がい者のスペシャルオリンピックスを紹介したいと思います。インターアクトクラブの方も、これからスペシャルオリンピックスの時にはぜひとも手伝っていただければと思いますのでよろしくお願い致します。

それではスペシャルオリンピックスのビデオを7分少々のもので見ていただきたいと思います。

(ビデオ放映)

スペシャルオリンピックスのビデオはこれで終わるんですけども、先週西大阪の知的障がい者の事件でも皆さんご存知かと思いますが、やはり有森裕子理事長がおっしゃるには、今理事長になったわけですが、初代理事長の細川さんに『あんた運動する機会を与えられないこの子達に、そういう機会を与えるのを手伝ってくれ』、そう言われたそうです。それで、有森裕子さんが今理事長になったそうなんですけれども、今彼女が一生懸命、全国にスペシャルオリンピックスを広めようと案内しております。その中で、有森裕子さんがおっしゃるには、やはり、冬季オリンピック、2020年には今が勝負なんだという言い方をするのは、今広めないと、スペシャルオリンピックスというのが皆さんに認知されない、そう言う意味で、この皆さんに意識・啓発をさせていただきました。頭の隅にでもずっと置いていただけたらと思います。その中でなぜ私がスペシャルオリンピックスと関わりたいと思ったのかと申しますと、やはり自分が何か人に役立つことが出来るのかなと、そうすると、私自身が運動が凄く好きなんだなと思ひまして、私はトライアスロンをずっとやっておりましたので、一応その審判委員の資格も取ったのですが、やはり自分が身体を動かさないとどうしてもだめなんです。何か一緒に運動できるものがないかな・・・ということでスペシャルオリンピックスのコーチの資格を取ろうとして今頑張っております。いや、頑張っているはいないです。少しずつ、今2、3歩歩み始めました。そして、この間のテレビでも少し出ておりましたが、皆さん日本理科学工業という会社はご存知でしょうか？従業員81名の会社ですが、ダストチョークといいまして黒板で書くチョークですが、ゴミが出ない、削りかすがでないチョークを作っている会社です。その中で、81名のうち61名が知的障害の方だそうです。そして27名は重度の障がい者ということです。昭和12年創業の会社ですが、昭和35年に2人の知的障がい者を預かって、それから60名まで現在は増えている訳ですが、その採用にあたり、その全寺のお坊さんより人間の究極の幸せは、1つ目は愛されること、2つ目は褒められること、3つ目は人の役に立つこと、4つ目は人に必要とされることであり障がい者が福祉施設で大事に面倒を見てもらうことが幸せでなく働いて役に立つことこそが人間を幸せにするんだと教えられ採用を決めたそうです。現在では社員全員で整理整頓・清潔清掃・しつけ当番を作り、そこに班長という役目を与え責任感と

誇りを持たせて会社が成り立っているそうです。先ほどもビデオで見て皆様がどんなことを感じられたかわかりませんが、あの中で全員表彰ということですね、私も結局水泳でも基本的に25メートルのプールを15メートルまで歩く、それも先導するわけですね。身体に触れてはいけないわけですから、手を叩いてこっちだよ、こっちだよ、というような先導をして歩く競技が一番知的障がい者の競技かなと、そして、一番最初は違和感を感じてはいけないのかもしれませんが、全員表彰は全員で万歳万歳と会場全員観衆もふくめるわけです。それは本当にちょっと慣れないと私自身も違和感があってちょっとびっくりしました。こういうような知的障がいのある子供達にそういう機会を与えることが大切だと有森裕子さんは言う訳です。確かに運動する喜びを与えること、私自身が結構そういうことで喜びを感じておりますので、そういう道に入りました。そして、知的障がい者というのがどういうことかと言いますと、IQが70以下、適応行動することに明らかに難しさがある、例えば言語を理解する・表現する・お金の価値を理解する・人との関係を築く・法律や決まりを守るということが苦手な人を言います。そしてその障がいがおおむね18歳までに生じる人をいわゆる知的障がい者と呼ぶそうです。ですから、知的障がい者と言う方には、赤黄色緑などの色の違いを理解するのに個人差があり、すごく時間がかかるそうです。また、自分で靴下を履くことなどにも時間がかかるわけですが、初めてのことをやるということに時間がかかるそうです。ですから、毎日乗っているバスの色がもし塗り替えられていたら乗れないそうです。そして記憶することが苦手だそうです。そして集中力が長続きしない。そして自分で決めることに慣れていない。ですから自由にしていいよと言うと何をしたいかわからない。ですから、何々をしようよという言い方をしなければならないそうです。手先が不器用なことがあったり、思ったことを感じてそのまま言ってしまうことがあるそうです。人に頼ってしまう、他の人と同じようにうまく出来ないことが日常あらゆる場面で起こるため、失敗するのではないかと不安になったり自信がもてなくなったりということが生じるのです。ですからまずプールで歩くこと、まずそこから始める訳ですが、先ほどのビデオで見たものは世界大会ですから、皆さん普通に泳げるじゃないかとおもうかもしれませんが、今スペシャルオリンピックス栃木の中では水泳なんかはそういうところから始まっているわけです。25メートル泳げるということ自体がすごいことなのです。私自身も40まで泳げなかったものですから、それから水泳をちょっと始めたので、そういうところはちょっと分かりますので道にはいろいろとしました。

すこし余談ですが、私の趣味を紹介したいと思います。これは2年前に作ったのですが、身体と心変身ということで、着たロータリークラブの卓話の中で使わせていただいていたのですが、これは50歳の最後のトライアスロンです。全部で13時間42分40秒と書いてありますけれども、フルの日本のトライアスロンでは50歳最後のものでした。これがマウイのトライアスロンということで私の全盛期です。これが46、7歳の頃、10年ほど前ですね。右が2012年のころ、身体がこれだけ違う。去年も出たのですがこれは短いもので1.5キロ泳いでバイクをこいで10キロ走るものです。マウイのトライアスロンは3.9キロ泳いで180キロバイクを漕いでフルマラソンするものです。これは15時間くらいですね。元気な頃ですので。では、つぎですが、3時間52分でマウイのときと1時間以上差があるということですね。これは宮古島の時の写真です。これだけきれいな海で20メートル下までそこが透明で泳

いでいても見えるというものです。トライアスロンを始めて自分が思ったことは、宮古島でもだいたい14時間くらいやっている訳ですから本当にヘトヘトで疲れるんですね。だけど、ゴールしたときは自分は笑っていると気づかないのですが、笑ってるんだと本当にそれが一番不思議でした。

自分のPRも含め、一番大切なスペシャルオリンピックスに対して、皆さんに意識を啓発していただければ幸いです。ありがとうございました。

続きましては徳原龍樹委員長よりお話があると思いますのでよろしくお願い致します。

徳原委員長



皆さんこんにちは。宇都宮北ロータリークラブから出向させていただいております。徳原龍樹と申します。よろしくお願い致します。

拡大委員長ではなく地区の会員増強委員の委員長でございます。ただ、なぜ増強委員がここに来たかと言いますと、今年度田代ガバナーが最も一番多く推しているのが会員増強でございます。会員増強以外はある意味では二の次で良いという勢いでございます。2ヶ月に1回会員組織委員は田代ガバナーのもとながら営業会議のようにビシビシと委員会を開いております。私がこの第3グループAを仰せつかっておりますので、ぜひとも皆様少しだけでもお力添えいただいで、なんとかこのグループAが田代ガバナーに顔向けできるくらいの元気なところをお見せできればということで、年初ということでご挨拶に伺いました。今年の会員組織委員会は様々な形でゴルフ大会やコンサートなど、若い会員から女性会員までさまざまなものが2550地区の皆様の会員増強するときのお手伝いになるようなアイデアや企画などを立てさせていただいております。なぜ会員増強が今なのか、田代ガバナーもおっしゃられると思いますが、2020年までに景気の動向というのは上り調子だということをおももご周知だと思います。その中で今がチャンスだということお2550地区は2000名を目指して、今年の目標は150名、さらに言えばもっとも経済規模の大きい第3グループに関してはその中の50名を、3分の1を担ってほしいというのが本音であります。なにしろロータリーはピーク時から日本のロータリーは3分の2の数に減ってしまいました。この2550地区も3分の2に減ってしまっています。そんな中で近年2550地区は近年会員増強を頑張っておりましてマラソングループでいうと2位くらいのところを走っているわけですが、2740地区の群馬と見比べるとちょっと遅れをとっています。そこが2000名ということですので、我々も追いつけ追い越せということで目標を立てました。その数字は意味があるかといいますと、ゴールを設定してそこまでたどり着くことが大切だということおそのスローガンを掲げさせていただきました。ぜひとも皆様のお力をお借りしたくお願い申し上げます。我々会員の皆様何をお協力お願いするかといいますと、ロータリーの魅力を皆様の周りの会員以外の方にお伝え頂ければと思います。ロータリークラブの活動は、若輩者の私が言うのもなんですが、非常に分かりづらいです。魅力というのも簡単には伝わらないと思うのです。それをひとりひとりが友達や同業仲間などに言っただけであれば、今年には特に飲み会などでも言ってもらえればなと思います。その一歩から、会員の増強につながって行くのだと思います。ぜひとも我々委員会、田代が

バナーと1年間頑張ってお参りますのでどうぞお力をお貸し頂ければと思います。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

今日の食事



- ・カンパチのパイ包み焼き
- ・パン
- ・スープ
- ・サラダ

9月5日 「魅力ある職場づくりについて」
宇都宮中央警察署長 高久 仁様

会報委員 小林健二委員
写 真 増田直樹委員

: メールアドレス u-rc01@silver.plala.or.jp

下記URLをクリックすると会報バックナンバーが表示されます

<http://www.u-rc.gr.jp/kaihou/web3.htm>